

令和八年度一般選抜独自方式Ⅰ期問題

国語

出題意図および解答例

一

【出題意図】

問題文は、親の老いをみつめる筆者のまなざしや考えを述べたものである。問題文を正確に読み取り、各設問に
対し明確に解答することができる思考力・判断力を有するかを問う。

【解答例】

問一 a 握って b 献立 c 統制 d 契約 e ついに

問二 (傍線部①) ウ (傍線部③) エ

問三 ウ

問四 イ

問五 ア

問六 イ

二

【出題意図】

問題文は、国際的な医療支援について述べたものである。問題文の構成・論理を正確かつ柔軟に捉え、各設問に
対し明確に解答することができる思考力・判断力を有するかを問う。

【解答例】

問一 a 管理 b はんざつ c 従事 d まれ e 控える

問二 (空欄A) オ (空欄B) イ

問三 イ

問四 (ア) ○ (イ) × (ウ) ○ (エ) × (オ) ○

問五 ア

①

令和八年度 入学試験問題（I期）

国語

受験番号

氏名

時間
六十分

配点
一〇〇点

一 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

著作権の関係で掲載できません。

②
国語(I期)
受験番号
氏名

--

(向田邦子「お辞儀」より。『向田邦子全集第一巻』文藝春秋、一九八七年、六〇頁～六七頁。出題の都合上、文章の一部を改変した)

問一 二重傍線部 a～e の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。

a		って	b		c		d		e		に
---	--	----	---	--	---	--	---	--	---	--	---

③	国語（Ⅰ期）	受験番号						氏名
---	--------	------	--	--	--	--	--	----

問二 傍線部①、傍線部③の意味として適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

傍線部①「息災」

- ア 打たれ強いこと
- イ 人前で苦しみを見せないこと
- ウ 病気をせず、元気なこと
- エ 古風で昔かたぎなこと

傍線部③「きまりが悪い」

- ア 自分や身内の様子を誇示すること
- イ 無神経で思いやりに欠けること
- ウ 規律正しさに欠け、だらしないこと
- エ 他の人に対して気まずく、恥ずかしく思うこと

問三 母の行動を傍線部②「お祭り騒ぎ」と述べる筆者の心情として、最も適当な説明を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 入院を機に生き生きと楽しげに振る舞う母を、少し滑稽に感じつつも安心して見守っている。
- イ 長年の家庭生活で苦労してきた母が、入院によって家事から解放され、高揚している様子に同情している。
- ウ 母が自分や家族の不安を紛らわすために、意識して過剰に明るく振舞っていることを感じ取っている。
- エ 入院という非日常を物珍しげに楽しむ母の姿に対して、母の病気を案じる自分との距離を感じて戸惑っている。

問四 傍線部④「私は、『開』のボタンを押してもう一度声をかけたいという衝動を辛うじて押えた」とありますが、それはなぜでしょうか。最も適当な説明を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 母の見送りに感謝はしているものの、改まった態度に気恥ずかしさを覚えたため。
- イ 母が家族の前で気丈な態度を見せる姿勢を尊重し、余計な言葉をかけてその努力を壊したくなかったため。
- ウ 母との別れを引き延ばすと、弟や妹が不満を表に出しかねず、それを見せまいとしたため。
- エ 母にいたわりを示したいと思っではいるものの、母の演技的な態度を見続けることが耐え難かったため。

④	国語（Ⅰ期）	受験番号						氏名	
---	--------	------	--	--	--	--	--	----	--

問五 傍線部⑤「父はこの姿で戦ってきた」という表現を筆者が用いたのはなぜでしょうか。最も適当な説明を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 家庭では威張っていた父も、社会の中では頭を下げながら、必死に努力してきたことに気づいたため。
- イ 父が家族の前でも社長や部下の前でも、内心の苦しみを見せず、求められる役割に徹してきたことに敬意を抱いたため。
- ウ 戦時期の過酷な社会状況の中で、家族の生活を守るために苦闘してきた父を誇らしく思ったため。
- エ いかなる時も社長への忠誠を示すことで、会社という戦場で出世を勝ち取ってきた父の戦略的な振る舞いに感心したため。

問六 傍線部⑥「親のお辞儀」に対して、筆者はどのように考えているでしょうか。最も適当な説明を次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 親がお辞儀をする姿を見て、自分たちが親を支えていかねばならない立場となったことを自覚し、世代交代の避けがたい運命を冷静に受け止めている。
- イ 親がお辞儀する姿を見て、かつての威厳や元気だった頃の姿との違いがやるせなく、老いて弱々しくなった親の変化に心を痛めている。
- ウ 親のお辞儀を通して、親が自分たちの成熟を認めていると感じ、安堵するとともに、他人行儀で遠慮がちな態度に寂しさを覚えている。
- エ 親がお辞儀をする姿は、年齢にふさわしい円熟と謙虚さを示すものであり、その変化に戸惑いながらも、尊敬の念をもって受け入れようとしている。

二 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

著作権の関係で掲載できません。

⑤	国語(I期)	受験番号							氏名	
---	--------	------	--	--	--	--	--	--	----	--

--

(喜多悦子「紛争被災民支援と超高齢社会のプライマリーヘルスケア」より。齋藤英彦『医の希望』岩波書店、二〇一九年、二三六～二三八頁。出題の都合上、文章の一部を改変した)

問一 二重傍線部 a～e の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。

a		b		c		d		e	える
---	--	---	--	---	--	---	--	---	----

問二 空欄 A・B に入る接続詞として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。空欄 B には同じものが入ります。

- ア したがって イ しかし ウ ところで エ つまり オ そのうえ

空欄 A		空欄 B	
------	--	------	--

⑥	国語(Ⅰ期)	受験番号						氏名	
---	--------	------	--	--	--	--	--	----	--

問三 傍線部「最低でも子どもの八〇％に予防接種を『徹底する』ことを目指しました」とあります。ここでの「徹底」とはどのようなことを意味するか、最も適当な説明を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 訪問先のすべての地域において、各家庭の子どもたちに平等に予防接種の機会を設けること。

イ 一人一人の子どもに対して、必要な回数の予防接種を完了させること。

ウ 予防接種を拒む地域や家庭の子どもに対しても、根気強く説得を行い、予防接種を受けさせること。

エ 子どもたちの人数を厳密に把握し、予防接種を受けられた人数が八〇％を下回らないよう、目標を設定すること。

問四 次の説明文を読み、本文の内容と合致するものには○、合致しないものには×で答えなさい。

ア 難民キャンプでの予防接種において重要なことは、病気の流行を未然に防ぐことである。

イ 予防接種の計画から実施までには最低でも半年以上かかるため、その間の人口の変動によって、接種対象者が計画時の推計を大幅に上回る事態がしばしば発生した。

ウ 六種同時接種が採用された背景には、対象者と繰り返し接触することが難しいという事情があったが、六種同時接種による効率や成果は当初期待していたほどではなかった。

エ アフガンの女性への破傷風予防接種を行う際、文化的背景から医療行為が禁止されていたため、予防接種の実現に時間を要した。

オ 筆者は、予防接種を妨げる一因として紛争に言及しているものの、その他にも原因は複数あり、紛争が唯一の原因とは限らないという立場をとっている。

ア		イ		ウ		エ		オ	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

問五 本文を評したものとして、最も適当な説明を次の中から一つ選び、記号で答えなさい

ア 国際的な医療支援について述べており、予防接種を進めるための工夫や実践を紹介し、支援活動においてぶつかる壁や問題点についても言及している。

イ 国際的な医療支援の歩みをたどり、最新技術の導入によって感染症対策が進んだ過程を、国際機関の成功例と失敗例に触れつつ展開している。

ウ 文化的背景が医療活動に及ぼす影響に注目し、現地の伝統や価値観と近代医療をいかに調和させるかを、丁寧述べている。

エ 国際的な医療支援を政治的な観点から整理し、紛争地での課題や支援の限界を検討した上で、改善に向けた方向性を示している。